



第 113 回院内コンサート

日時：2025 年 3 月 22 日（土）14 時～

場所：亀田病院 新館待合ホール

♪ ♪ ♫ 演奏者プロフィール

まきやま あきこ

メゾソプラノ：牧山 亜紀子さん



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を故・川上勝功、故・朝倉蒼生、Uwe Heilmann の各氏に師事。ドイツ・ベルリン、スペイン・バルセロナにおいて研鑽を積む。南米ボリビア・ラパス国立音楽院にて教鞭をとる傍ら、ソリストとしてボリビア国立交響楽団、在ボリビア日本国大使館などにおいて多数演奏。Álvaro García Linera 副大統領（当時）の結婚式にて歌唱、各報道機関により全国へ中継された。バッハ「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」「フィガロの結婚（マルチェリーナ）」、ベートーヴェン「第九」「合唱幻想曲」、ブラームス「アルト・ラブソディ」、ビゼー「カルメン（ハイライト形式・タイトルロール）」など国内外の公演にソリストとして出演。日本声楽発声学会、一般社団法人横浜音楽文化協会各会員。



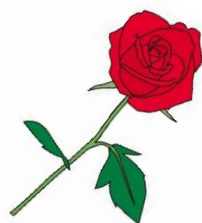
つかもと まさこ

ピアノ：塚本 雅子さん

今からウン十年前、初の海外旅行がスペインでした。今回の作品はその時の思い出が蘇ります。陽の光、街の中の建物や教会、街路樹のオレンジがたわわに実った木、オリーブ畑、バルに並んだ美味しそうな食べ物、情熱的なフラメンコ、ピカソのゲルニカ、等々。スペインの空気をお伝えできれば幸いです。

洗足学園大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業、横浜国立大学大学院音楽研究専攻修了。歌曲によるバラードを研究。霧島音楽祭、モーツァルトウム夏期講習会等参加。ピアノを杉山哲雄、ミケーレ・イノチェンティ、故・羽鳥栄、伴奏法を故・井形景紀、故・白石隆雄、C.スペンサー各氏に師事。戸塚演奏家協会、一般社団法人横浜音楽文化協会各会員。





★プログラム★

「スペイン」



1) パディージャ作曲 「バレンシア」

バレンシアの活気ある文化と情熱を描いた曲。毎年バレンシアの火祭りでも演奏される。

2) ロドリーゴ作曲 “アランフェス協奏曲”より「愛のアランフェス」

スペイン内戦の影響を受けた古都アランフェスの平和を願って作曲され、今でも広く親しまれている作品。

3) アルベニス作曲 “スペイン組曲”より「セビリア」

セビリア(セビージャ)の街の活気と情熱を、フラメンコのセビジャーナスのリズムで表現している。

4) オブラドルス作曲 「エル・ビート」

アンダルシア地方に伝わる民謡をもとにした曲で、「ビート」のリズムが印象的な作品。

5) ゴメス作曲 「アヴェ・マリア」

ジブラルタル出身のギタリスト兼作曲家ゴメスが 2000 年に作曲した、近年人気のある作品。

6) チャピ作曲 サルスエラ“セベデオの娘たち”より「とらわれ人の歌」

スペインの田舎町を舞台にした作品で、恋人を救おうと希望と愛を歌っている。

7) ロッシーニ作曲 オペラ“セビリアの理髪師”より「今の歌声は」

セビリアを舞台にした有名なオペラ。恋をしたロジーナが成就のために決意を歌う。

8) ビゼー作曲 オペラ“カルメン”より「恋は野の鳥(ハバネラ)」

セビリアのタバコ工場で働くカルメンが、自由な愛の哲学を歌い男性たちを魅了する。

お願い：許可のない動画・写真の撮影はご遠慮ください。
なお、感染症拡大の際にはコンサートが中止となる場合もございます。

次回、第 114 回院内コンサートは 2025 年 4 月 19 日（土）14 時～